

「今回の旅人」菅野まゆみさん（東京都在住）

1泊2日でご近所旅行

東京の下町、谷根千を巡るひとり旅

今や国内外の観光客に大人気の東京の下町、谷根千にお住まいの菅野さん。通り過ぎてしまっていたあの場所や、知らない横道……。いつもは自転車で行き回っていたあの場所や、知らない横道……。旅人になってゆつくり巡ってみました。

START 1日目

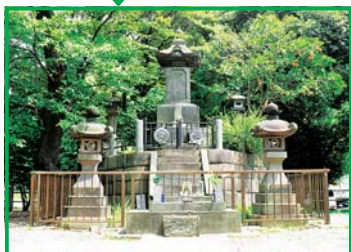


自宅から徒歩10分の東京国立博物館からスタート

東京国立博物館 とうきょうこくりつはくぶつかん
☎03-5777-8600（ハローダイヤル）台東区上野公園13-9 ☎9時30分～17時（金・土曜は～21時、9月までの日曜・祝日は～18時。入館は各30分前まで）④月曜（祝日の場合は翌平日）⑤常設展620円（特別展は別途。黒田記念館、資料館は無料）🚗JR上野駅から徒歩10分



上野恩賜公園内にある上野東照宮。外国人観光客の姿が目立つ



上野戦争（戊辰戦争の戦いのひとつ）で敗れた彰義隊（旧幕府軍）の墓所



かつては6mの高さがあった釈迦如来坐像、上野大仏。震災や戦禍で破損し、今は顔面のみがレリーフとなって残っている



上野恩賜公園の南端にある不忍池。中央に不忍池辯天堂がある。ハスの花が見頃を迎えていた



国の重要文化財・旧岩崎邸庭園。三菱財閥を築いた岩崎家の邸宅としてジョサイア・コンドルが設計し、1896年に竣工した

旧岩崎邸庭園 きゅういわさきていていえん
☎03-3823-8340 台東区池之端1-3-45 ☎9～17時（入園は～16時30分）④無休 ⑤400円 🚗東京外口千代田線湯島駅から徒歩3分

お小遣い合計
24,129円

交通費	0円
宿泊代 （1泊朝食。銭湯代込み）	12,584円
食事代	5,645円
拝観料、入館料など	2,800円
書籍など	3,100円



自宅から徒歩10分が出発地

海外の観光客も増えてきた我が町、谷根千。日々の暮らしのなかで気にはなりつつも通り過ぎてしまっていたところ、知らない横道もたくさんある。主婦をお休みして、この街を観光してみようと思った。

まずは自宅から徒歩10分の東京国立博物館へ。特別展ばかりでなく、ほかの展示もじっくり見たいと思っていた。本館、東洋館、黒田記念館の常設展示を外国人観光客に交じって見ていく。落ち着いた調子で交わされる外国語、板張りの床に響く靴の音が心地よい。併設のレストランで昼食後、上野動物園、美術館や博物館、上野東照宮、西郷さんの銅像、彰義隊の墓などが点在する上野恩賜公園へ。戊辰戦争・明治維新150年という歴史を考えながら散策した。

ハスが花見頃を迎えていた。ハスが見頃の不忍池を渡った先には三菱財閥の旧岩崎邸庭園がある。往時は今の3倍の敷地があり、房総半島や富士山も見えたという。J・コンドル設計の洋・和館を、ガイドツアーで見て回る。震災・戦争を経て残る邸内は、あちこちに凝ったデザインが施され、部屋ごとに異なる意匠や様式がとてつもない。

さて、今夜の宿は「町全体がホテル」という考えで築50年のアパートをリノベーションしたhanare。シンプルな設備に新鮮なものでなしの姿を感じる。近所の銭湯で汗を流したあとは、夕方の賑わいを見せる、よみせ通りのラーメン店で夕食。下宿のような気楽さの部屋で眠りについた。

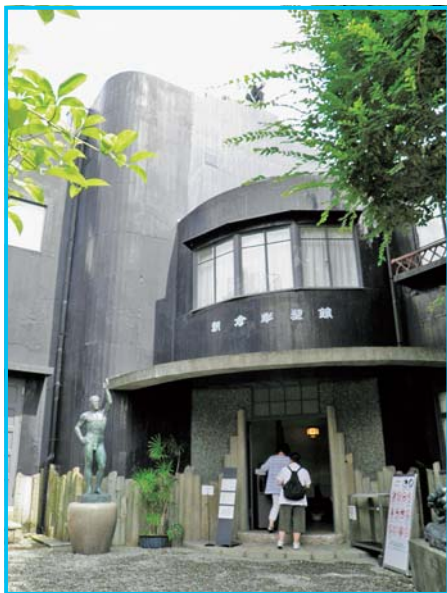
皆さまからのプランをお待ちしています！

「私のひとり旅」では、あなたのとっておきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅のプランをご提案ください。実際に旅をして頂き、原稿執筆の謝礼として採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担ください。

応募要項

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募ください。①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)

郵 送 ▶ 〒162-8446 東京都新宿区
 払方町25-5 JTBパブリッシング
 ノジュール「私のひとり旅」係
 FAX ▶ 03-6888-7839
 メール ▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp
 ※いずれも「ノジュール 私のひとり旅」と明記のうえ、お送りください。



「東洋のロダン」と呼ばれた朝倉文夫(1883～1964年)の彫刻作品とアトリエ兼住居を鑑賞できる、朝倉彫塑館

台東区立朝倉彫塑館

たいとうくりつあさくらちようそかん
 ☎03-3821-4549 台東区谷中7-18-10 ☎9時30分～16時30分(入館は～16時) ④月・木曜(祝日の場合は翌日) ¥500円 車 JR日暮里駅から徒歩5分



じっくり選んだ本とフリーペーパーが旅のお土産

朝食は宿のフロントがあるHAGISOの、HAGI CAFEで。日本各地の食材を取り込んだ「旅する朝食」がコンセプト



hanareの一室、「雲の間」



築50年のアパートをリノベーションした町中ホテル、hanare

hanare

ハナレ

☎03-5834-7301 台東区谷中3-10-25 (HAGISO) ¥1泊朝食付き1万1504円～ 車 JR日暮里駅から徒歩5分



くねくねと蛇行するへび道。次の角を曲がると何があるのか、ワクワクしながら散策

やなか珈琲店 ☎0120-874-877) でひと休み



GOAL



面白い本と出会えそうでワクワクする、古書ほろうろ

古書ほろうろ こしょほろうろ

☎03-3824-3388 文京区千駄木3-25-5 ☎12～23時(日曜・祝日は～20時) ④水曜、第1・3火曜 車 東京メトロ千代田線千駄木駅から徒歩7分



20坪ほどの小さな店構えながら、独自の選本と並べ方が本好きを魅了する、往来堂書店

往来堂書店 おうらいどうしょてん

☎03-5685-0807 文京区千駄木2-47-11 ☎10～22時(日曜・祝日は11～21時) ④無休 車 東京メトロ千代田線千駄木駅から徒歩5分

我が町の顔をじっくり味わう

目覚めるとすでに強い陽射し。宿のフロントがあるHAGISOのカフェで和定食の朝食。座っていると食事が出てくる、主婦だからこそいっそう強く感じる幸せ。

今日はまず、近くの朝倉彫塑館へ。彫刻家・浅倉文夫の自宅兼アトリエで、中庭のある敷地全体が国指定名勝になっている。磨かれた床や階段、風通しの良い座敷、手入れの行き届いた中庭と池、天井までの本棚。昔遊びに行った家のような懐かしさが随所にある。屋上庭園からの眺めはまるで知らない町のように。

続いて、千駄木と根津の間をくねくねと結ぶ、へび道へ。隣を通るキッテ通りと共に最近人気のスポットで雑貨や飲食、本屋などの小ぢんまりした店が続く。路地を行きつ戻りつしながら民家の佇まい、玄関前の植木鉢、お稽古事の看板などを見ていると、町のいろいろな顔が見えてきて楽しい。

谷根千の中心を走る不忍通り周辺は書店や古本屋、図書館も多く、「不忍ブックストリート」として本好きには知られた場所。今回は独自の選本が魅力的な往来堂書店と、穏やかな店主夫妻の眼になつた古書が所狭しと並ぶ古書ほろうろの2軒の書棚を心ゆくまで味わっていくことにした。

日頃、自転車で行き回すばかりの地元の町。ささやかな近所の風景をゆつくりと見てまわり、変わったところもそうでないところもこの町の素敵な味なのだと感じ、町への愛着を改めて胸にして、主婦に戻った。